

自分の思いを表現できる子どもをめざして 国語科を中心として書く力の育成を通して

神奈川県秦野市立南小学校 大野 正美

一 はじめに

本校では、平成十七年度まで総合的な学習の時間の研究に取り組んできたが、その過程において児童に表現力をつけることの必要性を感じていた。表現力をつけるには、全ての教科につながる国語科から考えた。そこで平成十八年度より「児童一人ひとりに書く力をつける」ことを目指して研究を続けている。具体的には

- ① 評価規準をより明確に設定した。
- ② 目的意識・相手意識を明確にした指導計画を作成した。
- ③ 「学年系統表」から具体的に指導事項を絞り込み、つけたい力における個々の課題を座席表に表し、支援方法を工夫した。
- ④ 個に応じた支援方法を工夫した。（ヒントカード・アドバイスカード）
- ⑤ 「書きましょタイム」を設定し、学年に応じて「書く」技能や語彙力を増やすための

くわしく思い出して書こう「楽しかったよ2年生」

学習活動（予想される児童の反応）	指導上の留意点（○）と評価（◎）
1 心に残っている出来事をグループで話し合い、カードに書く。 ・1班 4月のこと ・2班 5月のこと ： ・8班 12・1月のこと	○前時の発表を元に、グループで月ごとに分担してカードに書くようにする。 ○少人数で考えることによって、意見を出し易くし、集中して調べられるようにする。 ○行事だけでなく、他教科も含めて勉強して初めてわかったことやできるようになったこともあげられるようにする。
2 カードを元にグループの発表を行い出来事を時間の順序に並べる。	○グループの発表を聞きながら、全体で出来事を時間の順に黒板に並べ、思い出をまとめることができるようにする。 ○張り出されたカードを見て他のグループからの付け加えがあれば、教師がカードに書いて加えていく。 ○同じ内容のカードがあっても並べてはり、グループの話し合いを認めるようにする。
3 一つ一つの出来事について思い出したことを発表する。	○カードを見ながら、その出来事について思い出したことを発表し、いろいろなエピソードを引き出せるようにする。 ◎一年間を振り返って楽しかった出来事を思い出そうとしている。 【感・意】[観察・発言] ・自分ではなかなか思い出せない児童に対しては、友達の見聞を聞きながら自分も同じだと賛同の見聞や確認ができるようにする。
4 次の時間は、自分の書き題材を決めて、メモを作ることを伝える。	○次の時間までに、二年生の思い出として書きたい出来事を決められるようにする。

スキル学習を行った。

⑥国語科以外でも、「書く」機会を増やすように努めた。

今年度は三年目だが、研究を進めていく中で、確かな手応えとして見えてきた取り組みについて述べたい。

二 「書く」ための工夫―話し合い― 交流の場を持つ

「書く」ことは、自分と向き合い、自分を見つめて、自分の考えをまとめる活動である。そのため「書く」活動では、課題を見つけ、構成を考えたら各自がひたすら書くという活動パターンが思い浮かぶだろう。しかし、どう書いていけばよいのか分からない児童にとって、構成メモまでできたとしても、すぐに書くことに結びつけることは難しい。そこで「話す」・「交流し合う」場を設定することにより自分の思いを見つめ、心の変容(考え・意見・感想など)に気づき、よりの確に表現することができるであろうと考えた。

《話し合う》活動の実践例》右頁に詳細

二年 くわしく思い出して書く

「楽しかったよ二年生」(14時間扱い2時間目) ここでは、自分の書きたい題材を見つげるために話し合う活動を行った。1時間目に全

体で思い出に残る出来事を出し合った。2時間目にはグループで分担して細かい出来事を出し合い、グループの発表を元に全体で付け足すことを話し合った。このようにじっくり話し合う場を持つことで、その時の出来事より具体的に、エピソードをまじえて思い出すことができた。

三年 想像をふくらませて書く

「たから物をさがしに」より

(10時間扱い3時間目)

ここでは、「書き出し」のパターンを広げるために話し合う活動を行った。「音から」会話から」など様々な友だちの「書き出し」を聞いたり自分の「書き出し」についてアドバイスをもらったりした。この活動をする中で、自分の「書き出し」を見直し、よりよいものを書いていくことができた。

三 「書きましょタイム」の取り組み

本校では週に一回、朝の十分間を「書きましょタイム」としている。学年の工夫によって「書く」ことのスキルアップとともに楽しさを味わうことができた。

《各学年の取り組み》

一年 語彙集め

二年 日記・聞き取り・吹き出しなど

三年 絵日記・言葉のゲーム・修飾語探し

四年 広告文・続き作文・説明作文・一行詩

言葉遊びなど

五年 四こまマンガ・連想ゲーム・手紙作文

「〇×か、なぜなら…」

六年 意見文・感想文

つくし級 しりとり・順序を考えて・体験文



5年生用のワークシート

四 まとめ

本校では新学習指導要領を意識して、今年度は国語科以外の教科でも「書く」活動を取り入れていくようにした。他教科においても児童は抵抗を感じずに書けるようになってきている。次年度も新学習指導要領をふまえてさらに研究を深めていきたい。

大野 正美 神奈川県秦野市南小学校勤務。「自分の思いを表現できる子ども」をめざして実践研究を続けている。